

The image shows two wooden chairs with a classic Y-shaped backrest and woven seats, positioned in a workshop. The chair on the left has a standard woven seat, while the one on the right has a more complex, layered woven seat. The background is a rustic workshop with wooden tables, shelves, and various tools and materials.

ロングライフデザイン

【Long Life Design】

長く使われ続けることを前提としたデザイン思想。

vol. 76

10年後も選ばれるか

「ロングライフデザイン」とは、一時的な流行や価格競争ではなく、長期間にわたって使われ続ける価値を追求するデザインの考え方です。単に壊れにくいだけでなく、飽きのこない美しさ、使いやすさ、修理のしやすさ、使い続けることで生まれる愛着など、さまざまな要素が関係しています。

例えば、北欧家具の名作椅子などには、発売から数十年が経過しても基本的なデザインを変えずにつくり続けられている製品があります。傷んだ部分を修理したり、座面を張り替えたりしながら使い続けることができ、年月とともに生まれる傷や風合いも、その製品ならではの魅力となっていきます。

また、日本デザイン振興会では、長年にわたり人々から支持され、今後も価値を発揮し続けることが望まれるデザインを「グッドデザイン・ロングライフデザイン賞」として表彰しています。その評価では「革新性」「信頼性」「普遍性」「規範性」「将来性」といった視点が重視されています。つまり、ロングライフデザインでは、単に製品の寿命が長いだけではなく、長くつくられ、長く使われ、社会の中で価値を持ち続けることも重要です。

近年は、環境負荷の低減やサステナブルな消費への関心の高まりから、「長く使えること」そのものが商品の価値になっています。そこで商品をデザインする際には、「購入時の満足度」だけではなく、「10年後にも使い続けたいと思えるか」という視点で考えてみてはいかがでしょうか。修理や部品交換など、長く使い続けるための仕組みまで含めてデザインすることで、製品への愛着を育み、顧客との長期的な関係を築くことにもつながります。

※このカードは、新製品や新企画の着想を得ることを支援する目的で作成・配布しているものです

DESIGN YAMANASHI「ロングライフデザイン」

発行日:2026年 9月 編集・発行:山梨県産業技術センター 甲府市大津町2094

